



馬の学校

# 馬の学校通信

2008. 6 vol.30

発行 馬の学校

事務局 〒409-0115 山梨県上野原市松留 645 ハイム上野原 206 TEL/FAX:0554-63-5534

E-mail : mine@horseschol.org ホームページ : http://www.horseschool.org



## 夏のプログラム 参加者募集！！

### ウマキャンプ (3泊4日)

日程：8月1日(金)～8月4日(月) 山梨・小須田牧場

対象：小学4年生～高校3年生 (定員 6名)

参加費：¥41,000 (現地集合・解散)

\*大阪集合解散の場合、小学生 ¥50,000 中学生以上 ¥55,000

★お申し込みは、会員の皆さまは6月14日(土)から、一般の方は16日(月)から、電話・メール・FAX(0554-63-5534)で事務局まで。(留守電になっていることが多いですので、その場合はメッセージを残していただければ、こちらからご連絡させていただきます)

## 春のプログラム 活動報告

### 馬とのふれあいプログラム

(3/2・4/19・5/24)



春は毛がたくさん抜けます



そうじも頑張りました



角さんと仲良くなりました



速歩にも挑戦！



こんにちは、よろしくね



「おいしそうに食べるなあ…」

## 馬の学校へのご協力、

### ありがとうございます！

ここに賛助会費をお振り込みいただいた皆さんのお名前を掲載し、心よりお礼申し上げます。

石井英雄・鉄谷明・川合哲朗・白井洋行・秋吉まり子・湯浅洋子

綾木真紀・西田芳美・山本土文・犬飼真也・小田茂・稲本涼子

上江洲恵梨

(敬称略・順不同)

## ファミリープログラム (4/20)



きもちいいなあ～



軽速歩の練習をしました

## 活動報告ブログを始めました

「馬の学校活動報告」 <http://ameblo.jp/horseschool>

ここ2年ほど、HP上での活動報告ができていませんでしたが、ブログでなら手間もかからないと思い、ブログを始めました。既に遅れ気味の報告ですが、ぜひのぞいてみてください。



みんな協力しての馬小屋そうじ



「一日、ありがとう」



## 2007年度会計報告

収入	(円)
2006年度繰り越し	74,382
年会費・賛助会費	64,000
プログラム収入他	593,000
<b>合計</b>	<b>780,822</b>
支出	(円)
通信費	83,080
消耗品費	61,020
プログラム費	437,250
その他	16,935
<b>合計</b>	<b>701,435</b>

## おすすめの本

『元競走馬のオレっち』 おがわじゅり  
幻冬舎コミックス

「オレっち」が、競馬界を引退し乗用馬になるための調教を受けている様子がマンガになっています。馬の目線で書かれているので、馬の気持ちを理解するのに役立ちますし馬たちの置かれているシビアな世界



も知ることができます。5月3日に東京の馬事公苑で行われたホースショーでサイン会があり、私も行ってきました。おがわじゅりさんのほのほのキャラクターがこのマンガにしっかり反映されています。

## 馬の競技 その1

いよいよ8月には北京オリンピック。今年は前号の「ウマニュース」で紹介した法華津選手の出場で、馬術に関心が集まりそうです。さて、ではここで問題です。馬術は、オリンピック全ての競技種目の中で他の競技にはない2つの特徴を持っています。一つは、動物と一緒に競技をする種目であること。ではもう一つは、次のうちどれでしょう？

- ①真夜中に競技をする    ②男女別にわかれていない    ③年齢制限がある

正解は・・・②の男女別になっていない、です。海外の大きな競技会になると、馬の年齢や子どもの年齢別に競技をすることはありますが、基本的に馬術競技は男女別にわかれていません。馬に乗る技術には、力は関係ないということです。そして馬と一緒に競技するため、人の技術だけでも、馬の能力だけでも上手くはいかず、両者の息がぴったりと合ったとき、最高のものが生まれるのです。右の詩は、かつてどこかで見てずっと心に残っているものですが、馬術競技にも同じ事が言えるのだと思います。

やさしさだけでは 馬は育たない。  
厳しさだけでも 馬は育たない。  
力で抑えようとしても 馬は応えてくれない。  
心を開かない人間は  
馬とひとつになることはできない。  
馬を育てる難しさ。それはこの仕事がいちばん贅沢な仕事であることを物語っているのかもしれない。



## 編集後記

この春は、急に暑くなったと思ったら、これまた急に寒くなったりと、かなり不安定な気候が続いていますが、風邪など引かれていないでしょうか？（私はしっかり？風邪引きました・・・）

5月5日、東京の馬事公苑で行われていた「ホースショー」を見に行ってきました。馬術競技の大会なのですが、競技と競技との間にいろいろな種類の馬のパレードやポニー競馬があったり、子どもたちがポニーや馬車に乗られる時間もあり、さらに馬具屋さんや馬グッズを売るお店も出ていたり、と一言で言えば「馬のお祭り」でした。競技関係者以外にも、家族連れも多く見られ、気軽に馬と親しめるいいイベントだなあと感じました。このようなイベントが日本各地で開かれるようになるといいのですが・・・。

(峯崎 友香理)